

看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会

1 検討会の目的

近年、医療の高度化・専門化の進展とともに、国民意識の変化、医療安全対策の推進等に伴い、これらに対応した資質の高い看護職員の養成が求められている。

また、大学においては、教育活動に対する自己評価及び第三者評価などが進められてきており、専修学校においても、平成14年3月、専修学校設置基準等の改正が行われ、専修学校等は教育活動等の状況について自ら評価を行い、その結果を公表することが努力義務とされたところである。

本検討会においては、このような状況も踏まえ、看護師等養成所が教育活動等の状況を自己評価するための指針を作成し、看護教育の充実に自主的に取り組む環境を整備するものである。

2 検討内容

看護師等養成所の自己評価指針の作成

3 スケジュール

平成15年2月から2回程度開催。平成15年度内に結論の予定。

4 位置づけ

(1) 厚生労働省医政局長が有識者の収集を求めて開催する。

(2) 事務局は厚生労働省医政局看護課に置く。

看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針作成検討会委員

氏 名

所属機関

役職

あさかわ あきこ
浅川 明子

海老名高等看護学院学院長

あらかわ まちこ
荒川真知子

東京警察病院附属看護専門学校教務部長

かさい かつよ
笠井 勝代

国立善通寺病院附属善通寺看護学校副校长

すずき みどり
鈴木ミドリ

福島県立総合衛生学院保健学科長

なりた ようこ
成田 容子

医療法人社団スズキ病院附属助産婦学校教科長

ひし沼 典子

聖路加看護大学看護学部長

ひらやま あさこ
平山 朝子

岐阜県立看護大学学長

ふなしま なをみ
舟島なをみ

千葉大学看護学部教授

ほし ほくと
星 北斗

(社) 日本医師会常任理事

やまとざき みえこ
山崎美恵子

(社) 日本看護協会看護教育・研究センター長

(50 音順)